

世界アルツハイマー月間【深沢図書館】での取組み

認知症は、誰でもなる可能性のある身近な脳の病気です。認知症の人が自分らしく生きていくことができる社会を作るためには、周囲の理解と温かい支援が大切になってきます。

毎年九月は「世界アルツハイマー月間」とされ、世界中で認知症の啓発が実施されています。日本では、共生社会の実現の推進を目的として今年一月、「認知症基本法」が施行され、九月は「認知症月間」、九月二日は「認知症の日」と定められました。

その活動の一つとして、先月、深沢図書館、地域包括支援センターみどりの園鎌倉と協働し、図書館の一角で認知症に関する展示を行いました。

深沢図書館の展示は今年2回目で、館長さん選りすぐりの認知症の書籍や、認知症の説明、相談機関・オレンジカフェの情報等を展示しました。



「見て触れて思いを馳せて、認知症」

受付カウンター付近で展示しました

地域のグループホームのご協力のもと、入居者さんの作品(富士山のちぎり絵等)も展示させていただきました。

館長さんのお話では、子どもから高齢の方まで、多くの方が足を止めて展示を見てくださっていたそうです。

認知症に限ったことではありませんが、寄り添いあえる地域社会を、地域の皆さまと、共に築いて参りたいと思います。

包括職員も参加しました



鎌倉市 令和6年度特別講座(ステップアップ講座)

【公開講座】

認知症にやさしい地域社会をめざして

9月19日生涯学習センターにてステップアップ講座が開催され、オレンジ大使 伊藤啓子さんや、認知症ケアに長年従事されている、材木座あじさいの家 中山美枝子さんのお話を伺いました。認知症当事者である伊藤さんは、認知症になってもできることはあると、様々な活動にチャレンジを続けられており、認知症と構えずに接してほしい、と仰っていました。中山さんは、自分が認知症になったらどうしてほしい?と投げかけられ、自分のことを理解し、優しく接してもらおう等、誰もが望むようなことを認知症の方も求めている、と話されていました。「とかげのアンソニー」の朗読で、会場は優しい空気に包まれていました。



鎌倉版 認知症サポートガイドのご紹介

鎌倉市では、認知症への取組みの一つとして、認知症サポートガイドを作成しています。認知症について、不安や悩みを抱えている人やその家族の皆さまが、相談や受診につながるための「相談窓口」や「医療機関」、「介護サービス」などの情報をまとめたものです。鎌倉市役所市民健康課、地域包括支援センター等でもリーフレットをご用意しています。右記QRコードからもダウンロードできます。



認知症サポートガイド

第67号・秋号

鎌倉市
地域包括支援センター
湘南鎌倉

発行人責任者

宮谷清美

0467-41-4013



【担当地域】

山崎 梶原

(一丁目～五丁目)

寺分

(一丁目～三丁目)